



# 令和3年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和3年2月3日

上場会社名 株式会社 松屋フーズホールディングス

上場取引所 東

コード番号 9887 URL <https://www.matsuyafoods-holdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瓦葺 一利

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 丹沢 紀一郎

TEL 0422-38-1121

四半期報告書提出予定日 令和3年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和3年3月期第3四半期の連結業績(令和2年4月1日～令和2年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第3四半期	71,130	10.6	903		763		1,866	
2年3月期第3四半期	79,599	8.7	4,827	60.1	4,982	58.2	2,686	42.6

(注) 包括利益 3年3月期第3四半期 1,866百万円 ( %) 2年3月期第3四半期 2,681百万円 (43.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第3四半期	97.97	
2年3月期第3四半期	140.96	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年3月期第3四半期	74,332	40,629	54.7	2,132.06
2年3月期	73,173	42,953	58.7	2,254.01

(参考) 自己資本 3年3月期第3四半期 40,629百万円 2年3月期 42,953百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期		12.00		12.00	24.00
3年3月期		12.00			
3年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和3年3月期の連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	10.8	2,200		1,900		2,600		136.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 0 社 (社名) 、 除外 0 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年3月期3Q	19,063,968 株	2年3月期	19,063,968 株
期末自己株式数	3年3月期3Q	7,734 株	2年3月期	7,724 株
期中平均株式数(四半期累計)	3年3月期3Q	19,056,258 株	2年3月期3Q	19,056,270 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料のP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
3. その他 .....	8
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大、緊急事態宣言による活動自粛等の一連の影響により経済環境は急速に悪化いたしました。緊急事態宣言の解除後、経済活動の回復の兆しがみえ始めたものの、感染者数増加傾向がみられ、依然として先行きは不透明な状況にあります。

外食業界におきましては、経済活動の自粛影響に加え、行政からの営業自粛要請等、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような環境の中で、当社グループは、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、「各店舗へのアルコールの設置」「従業員の健康チェックと手洗いの徹底」「店内消毒の徹底」「マスクの着用」「換気システムによる店内の換気を常時実施」等の取組みを全国の店舗で実施し、食のインフラとしての責務を果たすべく、以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、牛めし業態22店舗、とんかつ業態7店舗、その他業態3店舗の合計32店舗を出店いたしました。一方で、直営の牛めし業態店26店舗、とんかつ業態11店舗、その他業態海外1店舗の合計38店舗につきましては撤退し、牛めし業態1店舗につきましてはFC契約を解除いたしました。したがって、当第3四半期連結会計期間末の店舗数はFC店を含め、1,200店舗（うちFC5店舗、海外13店舗）となりました。この業態別内訳としては、牛めし業態958店舗、とんかつ業態195店舗、鮎業態11店舗、その他の業態36店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、60店舗の改装（全面改装2店舗、一部改装58店舗）を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大によるお持ち帰り・キャッシュレス決済のニーズの高まりにあわせ、お弁当WEB予約サイト「松弁ネット」での20%還元キャンペーンやUber Eats・出前館送料無料キャンペーン、PayPay支払20%還元キャンペーン等を開催いたしました。

これらの取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の連結ベースの業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響を受けたことにより、前年同期比10.6%減の711億30百万円となりました。

売上高の減少により、固定費の占める割合が上昇したこと等により、売上原価につきましては、原価率が前年同期の32.8%から33.8%、販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の61.1%から67.5%となりました。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト（売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト）の売上高比は、前年同期の66.2%から68.6%へと上昇いたしました。

以上の結果、営業損失は9億3百万円（前年同期は営業利益48億27百万円）、経常損失は7億63百万円（前年同期は経常利益49億82百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は18億66百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益26億86百万円）となりました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は743億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億59百万円増加いたしました。このうち、流動資産は226億9百万円となり、受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品の減少があった一方、現金及び預金が31億56百万円増加した等によって、前連結会計年度末に比べ18億81百万円増加いたしました。また、固定資産は517億22百万円となり、繰延税金資産の増加等があった一方、減損損失の計上による有形固定資産の減少等によって、前連結会計年度末に比べ7億22百万円減少いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は337億3百万円となり、未払金、未払法人税等の支払いによる減少があった一方、借入金の増加等によって前連結会計年度末に比べ34億82百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は406億29百万円となり、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末に比べ23億23百万円減少となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の58.7%から54.7%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の新規感染者の発生は現在も続いており、依然として今後の先行きは不透明な状況にありますが、現時点で令和3年3月期の連結業績予想数値につきましては、令和2年11月4日公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,743,917	14,900,094
受取手形及び売掛金	2,190,912	2,057,908
商品及び製品	651,501	857,340
原材料及び貯蔵品	3,723,945	3,544,707
その他	2,417,590	1,249,718
流動資産合計	20,727,867	22,609,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,936,182	19,606,084
機械装置及び運搬具(純額)	1,959,668	2,724,789
工具、器具及び備品(純額)	2,228,469	2,299,441
リース資産(純額)	835,033	667,301
土地	9,341,954	9,341,954
建設仮勘定	3,948,174	185,209
有形固定資産合計	36,249,483	34,824,780
無形固定資産		
ソフトウェア	221,877	405,017
その他	183,216	39,771
無形固定資産合計	405,094	444,788
投資その他の資産		
投資有価証券	71,994	71,785
敷金及び保証金	12,349,260	12,075,478
長期前払費用	434,551	392,092
店舗賃借仮勘定	223,864	111,886
繰延税金資産	1,713,211	2,812,585
投資不動産(純額)	194,987	189,992
その他	812,647	808,689
貸倒引当金	△9,734	△9,603
投資その他の資産合計	15,790,782	16,452,907
固定資産合計	52,445,360	51,722,477
資産合計	73,173,228	74,332,245

(単位:千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,195,727	2,134,705
短期借入金	86,552	4,184,087
1年内返済予定の長期借入金	2,276,884	3,384,052
未払金	5,795,497	4,046,585
リース債務	420,290	269,840
未払法人税等	1,535,794	258,356
賞与引当金	984,427	678,075
役員賞与引当金	—	669
資産除去債務	—	11,663
その他	3,472,693	902,199
流動負債合計	16,767,867	15,870,234
固定負債		
長期借入金	10,628,816	14,988,684
役員退職慰労引当金	567,800	567,800
リース債務	482,950	455,025
資産除去債務	1,602,225	1,657,938
繰延税金負債	3,948	4,786
その他	166,595	158,720
固定負債合計	13,452,336	17,832,955
負債合計	30,220,203	33,703,190
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,963,144	6,963,229
利益剰余金	29,418,516	27,094,234
自己株式	△16,461	△16,555
株主資本合計	43,021,131	40,696,840
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	832	687
為替換算調整勘定	△68,939	△68,472
その他の包括利益累計額合計	△68,107	△67,784
純資産合計	42,953,024	40,629,055
負債純資産合計	73,173,228	74,332,245

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成31年4月1日 至令和元年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自令和2年4月1日 至令和2年12月31日）
売上高	79,599,343	71,130,855
売上原価	26,108,785	24,024,170
売上総利益	53,490,557	47,106,684
販売費及び一般管理費	48,662,772	48,010,632
営業利益又は営業損失（△）	4,827,784	△903,947
営業外収益		
受取利息	15,971	13,943
受取配当金	1,587	1,575
受取賃貸料	168,278	145,658
その他	194,942	246,376
営業外収益合計	380,778	407,552
営業外費用		
支払利息	38,558	64,243
賃貸費用	165,440	147,639
その他	22,537	55,101
営業外費用合計	226,536	266,984
経常利益又は経常損失（△）	4,982,027	△763,380
特別利益		
固定資産売却益	723	1,811
受取補償金	—	30,909
収用補償金	105,236	70,475
その他	4,477	13,953
特別利益合計	110,437	117,149
特別損失		
固定資産除却損	9,502	9,447
店舗閉鎖損失	2,574	41,712
固定資産売却損	1,460	458
減損損失	239,857	1,653,907
その他	—	150
特別損失合計	253,395	1,705,675
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	4,839,069	△2,351,906
法人税、住民税及び事業税	1,955,285	613,497
法人税等調整額	197,707	△1,098,472
法人税等合計	2,152,992	△484,974
四半期純利益又は四半期純損失（△）	2,686,077	△1,866,932
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	2,686,077	△1,866,932



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,686,077	△1,866,932
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	927	△144
為替換算調整勘定	△5,607	467
その他の包括利益合計	△4,679	322
四半期包括利益	2,681,397	△1,866,609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,681,397	△1,866,609
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、令和2年6月29日開催の定時株主総会及び令和2年11月4日開催の取締役会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、第1四半期会計期間において、利益剰余金が228,674千円減少し、当第3四半期会計期間において利益剰余金が228,674千円減少しております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
令和2年6月29日 定時株主総会	普通株式	228,674	12	令和2年3月31日	令和2年6月30日	利益剰余金
令和2年11月4日 取締役会	普通株式	228,674	12	令和2年9月30日	令和2年12月8日	利益剰余金

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。